

# サンセット大通り (Sunset Boulevard)

観賞日 2024年5月27日 上映時間 110分

## 【概要】

制作 1950年 アメリカ

監督 ビリー・ワイルダー

脚本 ビリー・ワイルダー、チャールズ・ブラケット  
D・M・マシューマン・Jr

音楽 フランツ・ワックスマン

撮影 ジョン・サイツ

出演 グロリア・スワンソン (ノーマ・デズモンド)、ウィリアム・ホールデン (ジョー・ギリス)  
エーリッヒ・フォン・シュトロハイム (マックス)、ナンシー・オルソン (ベティ)



## 【あらすじ】

LAに住む売れないシナリオライターのジョー・ギリスは車の借金300ドルが払えず万策尽きる。ジョーは借金取りから逃げる途中、サンセット通りの古びた屋敷に逃げ込む。その奇妙な屋敷には2人の人が住んでいた。一人は往年のサイレント映画のスター、ノーマ・デズモンド。もう一人は彼女を崇拜する謎めいた執事マックス。ジョーが職業はライターと語ると、ノーマは自分が書いた原稿「サロメ」を見せ、ジョーを屋敷に住まわせシナリオを完成させるよう命じる。この20年間屋敷内に閉じこもり、外の世界に無頓着のノーマは今でも自分が大スターのつもりでいる。大晦日の晩、屋敷を抜け出したジョーは昔の仲間アーティーのパーティーに出席する。それを知り嫉妬に狂ったノーマは自殺を試みる。やがてシナリオが完成、ノーマは昔コンビを組んでいた巨匠デミルにシナリオを持ち込む。デミルに会いに日々訪れる映画スタジオ、懐かしい人たちとの邂逅。現役復帰を夢見るノーマ。ジョーはノーマに内緒で、友人アーティーの婚約者ベティと共同作業で「名もないラブ・スーリィー」というシナリオを描く。ジョーはベティをノーマの屋敷に呼び出しノーマとのことを洗いざらい話し、屋敷を出ようとするが・・・。

サイレントとトーキー、スタッフとキャスト、一握りのスターとその他大勢の無名俳優。ハリウッドの内幕を描いた、G・スワンソン渾身の熱演。

## 【解説】

### ■ポイント

#### ●サンセット大通り

LAに実在する通りで夕陽が美しい場所として有名。夕陽は人生の終焉、落ち目を象徴

#### ●グロリア・スワンソン (1899年~1983年)

・1899年、イリノイ州生まれ。サイレント映画の時代に、セシル・B・デミル監督作品のヒロインとして活躍しスターの地位を築き、最も高いギャラをとる女優として「ハリウッドの女王」と呼ばれる。「港の女」(1928年)で第1回アカデミー賞にノミネート。

・しかし、サイレントからトーキーへの移行に対応できず1930年代に失速。

1941年に引退するが本作で銀幕に復活、アカデミー賞主演女優賞に本命視されるが受賞に至らず。生涯オスカーには縁がなかった。

#### ●受賞 (アカデミー賞)

11部門にノミネート、3部門で受賞 (脚本賞、作曲賞、美術監督装置賞)

#### ●評価 (AFI アメリカ映画ベスト100)

2007年: 16位

### ■見どころ

●往年の大スター、スワンソンが自らを思わせる役柄で復活、狂気と妄執に捕らわれた女優を熱演。また、デミルをはじめとする、当時の監督、スターが実名で出演

